Y18a　新聞は金環日食をどう伝えたか

白鳥　裕（東海大学）

昨年5月21日に起こった金環日食は、日本の広範囲で金環日食または部分日食として観察された。このため、おおきな天文イベントとして盛り上がり、多量のメディアで取り上げられる結果となった。この講演では、新聞とくに地方新聞に視点を絞り、どのような取り上げられ方をしてきたかを検証してみている。　新聞は約400紙について、当日およびその前後の紙面を調べ、記事の有り無しをまず調べ上げている。次に、写真の有り無しを調べた上で、さらにそれらを「太陽の写真」と「観望会の写真」を載せているかで分類を行ってきた。　本公演ではさらに他の天文イベントととの取り上げられ方の違いについても検証を行った結果についても触れていきたい。